

県仏通信

第8号

平成25年2月発行

発行者

新潟県仏教会長 加藤朝雄

県仏事務局長 河部正隆

事務局住所

〒950-0847

新潟県新潟市東区古津田1-6-5内

電話 0250-22-4136

FAX 0250-22-4133

印刷所 有限会社玉源印刷所

ありがとうございます

新潟県仏教会長 加藤朝雄

平成二十五年を迎え、正月一
か月が経過致しました。新年の
諸行事就緒で、皆様たいへんだ
ったことでしょうか。今年からの
新しい目標も、お立てになった
と思いますが、新潟県仏教会に
とつても、役員交代・新体制へ
と種変わりする年となりました。
一応、三月末日までは旧体制で
すが、事実上全部終わりました
ので、今までの会長として、こ
の誌上でご挨拶申し上げておき
たいと存じます。

皆様から暖かいご支援を賜り、
二期四年をなんとか務めさせて
戴いたことに、まず厚くお礼中
し上げる次第です。本誌に有難
うございました。思い返せば、
前県仏会長よりバトンを引き継
いで四年、新会則の制定・県仏
通信の発行・ホームページの立
ち上げ・県仏組織の再生・地域
仏教会への支援・全仏関係行事

への参加・大震災被災地訪問な
ど、皆様からの御指導を仰ぎな
がら歩んできた思い出が、次々
に湧いてまいります。

力不足で中途半端になってし
まったものも沢山ありますが、
どうぞお許しください。願わく
は、県内各地区にある仏教会組
織が再生し、各行政区単位で組
織を組み直し、発力のある仏
教会となつてくださるよう、祈
念して止みません。各市町村單
位の仏教会代表者が「県仏」と
して一つに纏まり、県や国に対
しても「ものを言える」新潟県
仏教会にならなければならな
いのです。

来る三月六日(水)には、新潟
ホテルイタリヤ軒で、平成二十
四年度活動報告と収支報告、並
びに次期新役員選出の「県仏
理事会」が開催されます。新会
則によつて交代する新潟仏会長

はじめ新役員の皆様に期待し、
県仏の未来を祝したいと思いま
す。最後に、副事務局長はじめ
直に私を支えて下さった方々
にも厚くお礼を申し上げます。
四年間どうも有難うございま
した。

東日本大震災発生時の
三月十一日・二時四十六分
に、全国各地において、
三回忌追悼法要並びに
梵鐘を撞いてほしい旨の
要請がありました。県仏
会員の御寺院様には、宜
しくお願い申し上げます。



幸せとやすらぎの心を贈る

鈴木佛壇店

白根本店/〒950-1223 新潟市南区白根目の出町10-8

TEL (025) 373-4155 FAX 373-4157

営業時間 AM9:00-PM6:00

<http://www.suzukibutsudan.co.jp/>

新発田店/新発田市城北町2丁目9-18 TEL (0254) 22-1020

長岡店/長岡市古正寺学園新田537-1 TEL (0258) 29-8400

小針店/新潟市西区小針4丁目5-13 TEL (025) 233-3136

竹尾店/新潟市東区はなみずき3丁目9-22 TEL (025) 279-1237

阿賀野店/阿賀野市庄ヶ宮662-17 TEL (0250) 82-8890

五泉店/五泉市築島634-4 TEL (0250) 47-3668

■全店駐車場完備しております。お気軽にご来店下さい。

— 日本の心をカタチに —



吉運堂

本社 新潟市南区戸越1347-1 TEL 025(372)1138代

www.yoshiundo.co.jp

寺院用具 | お仏壇 | 墓石

新潟県で
No.1 ・22店舗ネットワーク
・専門資格保有数160

寺院用仏具・仏壇・製造修復販売



放光

● 本社・工場

〒940-0825 新潟県長岡市高畑町617

TEL 0258(33)5644 FAX 0120-174176 FAX 0258(32)7149

● 新潟店

〒950-0941 新潟県新潟市中央区女池2-2-11

TEL 025(280)1550 FAX 025(281)8790



金・仏だより



税務調査等の対応にご留意！

宗教法人等の税務調査の厳格化や帳簿書類整備の必要性 ～適正な申告や帳簿書類の整備が要求されます～

国税通則法の改正（平成25年1月1日以降施行）による税務調査権の明確化（全国一律の統一化・成文化）と罰則による強化

国税通則法の改正内容

- ・事前通知（納税者、納税代理人）
※但し、非違が疑われる場合は、事前通知することなく質問検査が行われる。
- ・質問回答、帳簿書類の提示、提出、留置（罰則あり）
- ・取引先等の反面調査
- ・調査結果説明
- ・更正、決定の通知
- ・再調査 など

適正な申告をしましょう

- ・給与、謝礼、日当などに対する源泉所得税
- ・お布施、賽銭、塔婆代、お車代、御膳料、付け届け等の収入・所得計上など

帳簿書類の整備をしましょう

- ・財産目録、収支計算書（経常収入年間8000万円超の法人、及び公益事業以外の事業を行っている法人、収支計算書を作成している法人）、事務処理簿、補助簿など（規則、役員名簿、責任役員会等の議事録等）
- ・檀信徒名簿の個人情報、宗教法人法第84条に準拠し、調査官の意図や内容を吟味した上で、慎重に対処しましょう
- ・過去帳は、人権擁護の立場から非開示を含め、慎重に対処しましょう

以上の点について、税理士、弁護士などを招へいして勉強会をしましょう

税務署からの「お尋ね」（任意回答文書）の送付についてご注意を

お布施、賽銭、お守り等の収入状況、宗教活動以外の収支状況、預貯金や不動産の状況、備付書類等の状況、給与（住職・寺族、使用人）の支給状況などについて回答を求めた文書です。

「お尋ね」（任意回答文書）に回答するかしないかは全くの自由です。地域仏教会単位で税務署に対応しましょう。＊詳しくは、公益財団法人全日本仏教会にお問い合わせください。



公益財団法人
全日本仏教会
WFB（世界仏教徒連盟）日本センター

〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4 明照会館2F
電話 03-3437-8275 FAX 03-3437-3260
<http://www.jbf.ne.jp/>
E-mail info@jbf.ne.jp

布教に使える仏教語法話

「こんにちは たいまいま」

挨拶言葉に「こんにちは」という句があります。「こんにちは」を漢字にすると「今日」となり、

こうやって過ごしている時間を含めた一日のことですね。キョウとも読みますが、仏教的にはコンニチと言っていました。「今日猶入今日・コンニチシュニユウコンニチ」という句は、今日のことは今日する・明日に伸ばさない、との教えです。更に、今日とは今が集まって成り立っているわけですから、「今の通じ方」が問題となるでしょう。

「今日唯今・コンニチタグイマ」は「たった今」を表し、時間を無駄に過ごすなと教えられます。

ところで、挨拶言葉の「こんにちは」の「は」は、係り助詞ですから、「こんにちは」と書いてはいけません。そして「は」と書く以上、次につながる文が来なければなりません。「今日は、ご機嫌いかがですか」の最初の部分だけが残ったものかもしれません。「ただいま」も「唯今、帰りました」の最初の部分と考えられます。

「今日あつて明日ない身」という文の今日はキョウ、明日はアスと読んでいますが、コンニチ・ミョウニチとも読めます。今日の次の日が明日、明後日は翌朝のこと、そして朝のことをアシタと言う事から、明日はアシタとも読まれるようになります。日本語

の読み方はややこしいですね。

それはともかく、自分について「こんにちは」はどう通じすのか？

「ただいま」は何をしているのか？心して、時間を大切に使うていきたいものです。

【灯台下暗し 備忘】

「灯台下暗し」という諺がありますね。恥ずかしながら今まで、「この灯台は海辺にある灯台のことだ」と思っていました。よく考えてみれば、海辺の灯台は足元も照らさなければ、サーチライトのように遠くを明るくすることもしません。船舶の航行安全のために、船舶に陸の位置を示すのがその役目です。

仏壇にある灯台が「下暗し」の灯台ですね。華風（けいふう）かびん及び香炉とともに「揃い」となり、「三つ具足」の一つとされている本来の灯台です。上に油皿を載せて灯心を立て、火を灯す台で、仏様の周辺を明るくするのがその役目と考えましょう。

お釈迦様が説法を終えてお帰りになるとき、暗い夜道での足元を照らすために使われた灯台の話が、仏教に伝わっており、その後、仏前の照明具は、油を灯す灯台ではなく、燭燭を灯す灯台つまり、燭台に変わっていきました。

これら灯台や燭台が部屋の照明具としても使われてきたことは皆様ご存じでしょう。電燈のある今日では、炎の顔し出す燭燭の魅力から、田明具と言う

より、部屋飾り・荘備具の一つとして機能しているようです。

灯台も燭台も、油や燭の垂れを防ぐための皿が載っています。

この皿の影で真下は明るくなりません。「灯台下暗し」とは、この現象を言うのでした。この事から、身近なことがかえって気づき難いことを灯台下の暗さに譬えるようになったという訳ですね。

「脚灯照照」という句は、この気付き難い足元をよく照らしてみなさい、ということですね。お覺りとか幸せは、案外、足元・身近な所にあるのかもしれない。遠くばかりに気を取られていないで、灯台下・脚灯にも意を注いで精進したいところです。

お通夜・ご葬儀会場に…

さつきホール
さつき会館

株式会社くみあい企画

●24時間常時受付

新潟市秋葉区新津東町1丁目318番地1

TEL 0120-409832

Tel. 0250(24)0983・Fax 0250(24)9236

残したい、心の遺産。

■全日本宗教用具協同組合加盟店
■伝統工芸士 ■一般木造技能士■白根仏壇協同組合加盟店
■一般石造技能士■全国仏教墓塔研究会会員
■一般土木施工管理技士■日本石材産業協会会員
■一般お墓ディレクター在籍

■仏事コーディネーター在籍



福宝

白根店 Tel. 025-362-1657
 新津店 Tel. 0254-26-3455
 佐和田店 Tel. 025-275-7712
 佐和田店 Tel. 0259-63-4588
 古川店 Tel. 0250-43-5500
 高田店 Tel. 0256-61-5757
 長岡店 Tel. 0258-86-7670

船橋店 Tel. 0257-32-2511
 東京店 Tel. 025-781-6550
 上野店 Tel. 025-522-8600
 総務部 Tel. 025-552-2916
 仏壇工場 Tel. 025-362-1666
 石造工場 Tel. 025-362-3434

本物と未来へ 伝統技術の専門メーカー

仏壇・墓石・神輿

トア 株式会社

TEL 0120-00-1930 FAX (0258)21-3830

本社／新潟県長岡市寺島町817

長岡本店 (0258) 28-1930
 長岡本町店 (0258) 33-1930
 新潟竹尾店 (025) 272-1930
 上越店 (025) 522-0139
 南魚沼店 (025) 772-8193
 中之島工場 (0258) 66-5193
 石材工場 (0258) 27-2113

県仏加入 地域仏教会の紹介

高田佛教会のおふぎと変遷

高田佛教会前会長 和田博祐

高田佛教会は現在百二十一カ寺の加盟寺院で構成されています。歴史を紐どいて見ると諸先輩の努力、情熱が垣間見ることが出来ます。

昭和六年宗派を超えて結束し、積極的に佛教文化を庶民に開放するとともに慈善活動をも展開し、民衆の心に活力を呼び起こす起爆剤の役を買って出ました。高田佛教会主催の「全国寺院寺宝展」を開催し市民の氣勢を鼓舞しました。

昭和二十三年には敗戦の暗雲を吹き払う意味で「上越一市三部佛教連合会」が主催し「佛教文化祭」を開催し、宗教界の結束と佛教文化の気高さを示しました。

この時期が高田佛教会の本格的な活動のスタートとされています。

あれから早八〇年あまりが経過しました。

昭和四十六年には旧直江津市と旧高田市が合併し上越市になりました。

また、平成の町村合併では十一町村の合併という過去に類を見ない規模になりました。しかしその間高田佛教会は二

宗派の離脱という難問にぶち当たり、浄土門系、臨済宗のみの団体となり現在に至っています。また、合併後も直江津佛教会、高田佛教会が別々の活動を余儀なくされている現状であり、十一町村の佛教会合併は尚更のことです。

しかし、現状の体制で歴史、活動の本筋を伝えることなく日々活動しています。

春のお花まつり、釈尊降誕会、高田城址観桜会、行事の一大行事として市民に浸透しています。また、観桜会期間中は公園内の釈迦堂に「誕生仏」を安置し市民に灌仏の機会を設けています。終戦記念日の戦没者追悼法要、市民に開放する公開講座、歳末助けあい募金等高田地区の住民の協力を得て活動しています。

また、三役会、理事会、役員会を臨時開催し会員相互の連絡調整、懇親を深めています。最後に上越市全地域の佛教会の合併という大きな課題を抱えています。地域性、教義の違いは有るが、今こそ八十年前を思い出し人々の心に光明と活力を呼び起こす起爆剤に思ふこととあります。



金・仏・だより



東日本大震災で被災した 寺院の復興のため 指定寄附金制度を是非ご活用ください。

指定寄附金制度の利点

- 被災寺院の復興のために、檀家・門徒に限らず広く全国一般の方や会社等からの寄附金も対象となります。
- 寄附した方が、税金の優遇措置を受けることができます。
- 被災寺院からの申請の他、包括宗教法人で被災寺院をまとめた申請も可能です。

※財務省ホームページ

www.mof.go.jp/tax_policy/2306kh-shiteikifukin.htm

東日本大震災により滅失・損壊をした公益的な施設等の復旧のために公共・公益法人等が募集する寄附金の指定

※詳しくは、都道府県庁の宗教法人事務主管部局へお問い合わせください。



公益財団法人
全日本仏教会
WFB (世界仏教連盟) 日本センター

〒105-0011
東京都港区芝公園4-7-4 新橋本館2F
電話 03-3437-0275 FAX 03-3437-0266
<http://www.jbfrn.jp/>
E-mail info@jbfrn.jp